

3号機RHR配管における水素の滞留について

原子力規制庁の論点

1. 2月28日の事故分析検討会において、東京電力HDから廃炉作業中に残留熱除去系（RHR）配管から事故由来の長半減期核種であるKr-85及び水素等の滞留ガスが検出された旨の説明があった。
2. 本件は、廃炉作業の安全上の観点からも、事故調査の観点からも重要な示唆を与えるものと考えられる。
3. 今後、廃炉作業及び事故調査作業を進めるに当たって、作業の影響確認など従前以上に丁寧に作業を行うことが重要。今後の廃炉作業におけるスクリーニング等の考え方、事故調査の観点からのデータ取得の手順の検討などが重要と考える。